

あなたのパワーを、みんなのエネルギーに。

My Actions for My ENERGY

明日のエネルギーのためにわたしができること

ひとりの小さな力でも

たくさん集まれば大きなパワーになる。

明日のエネルギーを支えるのは、私たちです。

あなたにもできること、そこから始めてみませんか？

個人の力で

日本国内に再生可能な自然エネルギーを増やしましょう。

温暖化は、もはや待ったナシ！

地球温暖化とは、大気中の温室効果ガス(CO2など)が増えることによって急速に地球の平均気温が上昇する現象です。温室効果ガスは太陽光を通し、熱を蓄える性質を持っています。このため、温められた熱を放出する運動が妨げられてしまい、まるで地球ごと温室に入れられたような状態になってしまうのです。ご存知の通り温暖化はすでに始まっています。そして、日本の自然エネルギー比率は0.2%です。※

※2006年度、一次エネルギー供給のエネルギー利用に占める自然エネルギーの割合。自然エネルギーとは、太陽光、太陽熱、風力、バイオマス、天然温度差など。

ひとりひとりができること。

電化製品のプラグをコンセントからまめに抜く。

暑いときは薄着、寒いときは厚着をして冷暖房の調節をする。

車の使用回数を減らし、なるべくエコドライブを心がける。

マイ箸、マイボトル、エコバッグを使ってゴミを減らす。

フードマイルの小さな食品を買う。(地産地消)

シャワーやお風呂の時間を数分短くする。

これらは誰でも気軽に実践できることですし、すでに心がけている人も多いことでしょう。このような取り組みのひとつに加えてほしいのがカーボンオフセットです。

カーボンオフセットとは

それは、出してしまったCO2をオフセット(埋め合わせ)すること。CO2排出を抑えるには、化石燃料に頼る生活を見直すことが第一。しかし排出量をゼロにすることはできません。そこで世界マメナジー基金は、みなさんにご協力いただく寄付やカーボンオフセット代、1000円につき1Wの太陽光発電パネルを設置。もし、20年間太陽光で発電するならば、電力会社から同じ量の電気を買って使うのに比べて、12KgのCO2削減につながります。太陽光発電という発電時にCO2を排出しない再生可能なエネルギーによって、すでに出してしまったCO2の埋め合わせができるわけです。これは500mlのペットボトル12240本分(体積、0℃1気圧)。灯油約5リットルの省エネに相当します。

まずは、日本からはじめませんか？

CDM(クリーン開発メカニズム)などの、いわゆる“排出権取引”では、ただ海外のCO2を買うだけで日本が持続可能(サステナブル)になることの助けにはなりません。また、海外への植林はその土地本来の目的を阻んでしまうケースもあります。

世界マメナジー基金の目的は、CO2排出を減らし、地球温暖化を抑制すること。そして、日本に国産のエネルギーを増やすことで、他の地域から奪う必要のない持続可能な社会を実現すること。(自給自足) まずは日本が持続可能になる。そして、その技術を援助などによって世界に広めることこそ、真の国際貢献につながる道ではないでしょうか。

ほんとうの「エコ」のために。

地球温暖化のことがしきりにメディアで報じられ、人々の注目が環境問題に集まり始めた昨今。「エコ」ということばが、あちらこちらから聞こえてきます。また「環境にいいこと」をしようと働きかけている団体も数多く見かけます。たくさんの人々に「エコ」を普及啓発することは、とても大切。でも、イベントやパンフレットの先に続く「何か」がなければ…。それらに使われる電気や紙の使用量が増えるばかりで、もったいないという側面もあります。これで果たして、温暖化をくいとめる効果を期待できるでしょうか。そう考えると、どの「エコ」も一概に「環境にいいこと」とは言えないかも知れません。世界マメナジー基金は、パンフレット配布やイベント開催のみに終わらない実行力のある基金です。どうぞ、みなさまのご協力をよろしくお願いします。

